

## 講師 渡邊 宏樹

湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室長・立命館大学  
大学院先端総合学術研究科・認定理学療法士(呼吸)  
呼吸療法認定士・心臓リハ指導士・心不全療養指導士・集  
中治療理学療法士・Knowledge Link代表



呼吸器リハエキスパートと学ぶ超実践セミナー

PT・OT・STが呼吸リハを  
基礎から実践まで深く理解するためのセミナー(札幌)

このセミナーは、  
リアル(対面)セミナーです。

北濃健保会館 芭蕉  
JR札幌駅南口より徒歩5分



2026 9月5日(土) 9:30~15:30  
(9:15~受付開始)

使える呼吸リハを学びたい人  
のためのセミナーです

呼吸リハを「点」ではなく「流れ」として理解するための実践型セミナーです。疾患・評価・解釈・介入という一連の臨床プロセスを分断せず、連続した判断として捉えることを目的とします。

第1部では、呼吸器疾患の理解を土台に、検査所見(画像・呼吸機能・血ガス)や身体所見(呼吸パターン・視診・聴診)の読み方を整理し、「何が起きているのか」を臨床的に説明できる基礎を構築します。

第2部では、評価結果をどのように統合し、リスクを見極め、方針を立てるのかを解説。コンディショニング、運動療法、ADL指導までを一貫したロジックでつなぎ、臨床思考を磨きます。

第3部では、排痰援助の実技を通して、手技だけでなく適応判断や使い分けまで体験的に学びます。

基礎から実践までを一つの流れとして再構築し、臨床で迷わない判断軸を身につけます。

理学療法士で医学史研究者が紐解く「理学療法の過去・現在・未来」

## 理学療法はどう生まれ、なぜ今の形になったのか

— 技術・制度・呼称のルーツから考える理学療法の現在地と未来 —

このセミナーは、  
zoomオンラインセミナーです。

2026 9月6日(日) 9:30~11:50  
(予備時間12:00まで) (9:15~Zoom受付開始)

理学療法、リハビリテーションの  
成り立ちやその後の歩みを理解  
したい人のためのセミナーです

「Physical」はなぜ「理学」と訳されたのか。  
なぜ理学療法士には開業権がなく、名称独占にとどまっているのか。  
臨床では当然のように行っている「評価」ですら、実は法律には明記されていないという  
事実を、知っていますか。  
なぜこのようなズレが生まれたのか。なぜ違和感を抱えたまま、現在の形が維持されて  
いるのか。

こうした疑問は、決して偶然ではありません。翻訳の選択、医学の導入、戦後の制度設計、そして多くの議論や妥協の積み重ねの中で、現在の「理学療法」という枠組みは形づくられてきました。

私たちが日々行っている理学療法は、歴史と制度の上に成立している“結果”です。その前提を知らなければ、理学療法を深く理解することも、説明することもできません。

本セミナーでは、理学療法のルーツをたどりながら、言葉・制度・臨床の関係性を構造として捉え直し、「理学療法とは何か」を自分の言葉で説明できる状態を目指します。

リハを深く理解する1日

Zoom『集中』webセミナー  
2026.9.5-9.6 [土-日]

お申し込みは Webサイト で賜ります

ナレッジリンク

検索

ナレッジリンクHP

